

TOPICS

“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース
鈴鹿8耐参戦 見事完走! 7/26SUN 決勝

7月23日(木)~26日(日)、三重県鈴鹿サーキットで開催された「鈴鹿8時間耐久ロードレース」に今年も二輪整備同好会が参加しました。今年80台以上と多数のチームがエントリーし、決勝グリッド70台をめぐる厳しい戦いが予想されましたが、見事、24日(金)の予選を通過し、決勝33番グリッドからのスタートとなりました。決勝が行われた26日(日)は大変厳しい猛暑の中、学生メカニック、ヘルパーが決められた役割を守り、ライダーも学生の頑張りに応えるかの様に気合いの入った走行で、7時間経過時点で23位まで順位を上げました。しかし、残り1時間を切った所での8耐独特の「ライトオン」の指示が出た時、電気系トラブルでヘッドライトが点灯せず、緊急ピットイン。全員での修復作業の結果、8時間が迫ったギリギリに再度コースに復帰し、見事チェッカーを受けました。残念ながら最後のトラブルで最終順位は35位(周回数187周)という結果に終わりましたが、学生達はやりきった達成感で最高の経験をする事が出来ました。

スポンサー並びに関係者各位の皆様、バックアップ頂き本当にありがとうございました。来年も頑張りますので引き続き応援よろしくお願いします。

<二輪整備同好会リーダー 上野 智也君(自動車整備科2年)>

今年は、トラブルに見舞われ惜しくも順位を下げる形になりましたが、それ以上に自分達にとって良い経験をさせていただきました。これもスポンサー企業の方々、先生をはじめ応援して頂いた皆様のおかげと心より感謝申し上げます。本当に有難うございました。



チーム一丸となって決勝に挑みました



本田技研工業(株)八郷社長も激励に来られました



気合いの入った走りを見せるライダー

後援会行事

Honda鈴鹿製作所見学バスツアー

9月29日(火)、毎年恒例の後援会主催「Honda鈴鹿製作所見学バスツアー」が実施され、20名の保護者の皆様に参加頂き、当日は秋晴れに恵まれ、絶好のバスツアー日和となりました。鈴鹿工場に入ってから、初めて見る四輪車の組み立てラインの、スピードや各パーツ毎の正確な自動化組付ロボットの動きに皆様は興味津々の様子でした。また、整然と整理・整頓がされた綺麗な工場内にも驚いておられて、ホンダの品質保証への取り組みも感じ取って頂いた工場見学となりました。参加頂いた保護者の皆様、ありがとうございました。来年は更にたくさんの方のご参加をお待ちしています。



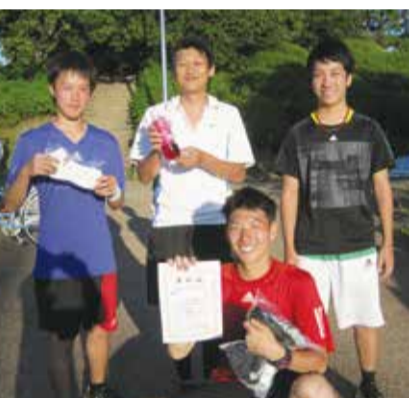
<参加者様からのコメント>

初めて工場を見学させて頂いて、全ての工程で驚かされました。特に溶接のゼネラルウェルディングマシンは、あの大きな機械でもなめらかな動きで、車体の剛性を高め且つ、高品質なボディが出来て行く工程に感心しました。ものを造る為の“人と機械”の融合を見る事が出来て、勉強になる1日となりました。

テニス同好会

「プリンセスカップ」結果報告

9月27日(日)、テニス同好会は、大阪府豊中市の服部緑地公園で開催された「プリンセスカップ」に出場しました。この大会は、幅広くテニス愛好家に参加できる大会で、初心者から上級者までが多数参加する大会です。メンバーはこの大会に向けて、学園内のテニスコートで連日放課後練習を重ね、上位進出を目指して臨みました。大会は、クラス別にシングル・ダブルスと行われ、本校は初級中級クラスのシングルとダブルスにエントリーしました。ダブルスで出場したメンバーは残念ながら予選敗退となりましたが、シングルでは、予選を見事勝ち抜き、決勝はホンダ学園メンバー同士の対戦となり、白熱した試合の結果、一級自動車整備研究科3年の吉田凌樹君が見事優勝しました。優勝した吉田君は、早くも「来年は、上級クラスでの連覇を目指します!」と気合いの入ったコメントを残してくれました。



サイクリススポーツ同好会

「シマノ鈴鹿ロードレース」出場

8月22日(土)、23日(日)、サイクリススポーツ同好会は三重県鈴鹿サーキットで開催された「シマノ鈴鹿サイクルロードレース」に参加しました。この大会は毎年1万人以上が参加する国内最大級のロードレースで、今年7名の学生がチャレンジしました。昨年は途中の豪雨で一部の競技が中止になったりしましたが、今年は天候にも恵まれて絶好のサイクル日和での開催となりました。初日の競技は2人または3人で交代で走る「2時間エンデューロ」に参加。この競技は1500台以上がエントリーしており、コース場では激戦が展開される耐久レースです。結果は自動車研究開発科の濱田・俣野組が18位と大検討しました。2日目は、1周または2周の「スプリントレース」に参加。この競技はサーキット特有のアップ/ダウンをペース配分しながらどう走り切るかがポイントです。結果は自動車研究開発科の俣野君が見事6位入賞を果たし、他のメンバーも力を出し切り目標タイムを上回る成績を残しました。競技終了後は、お互いが反省しながら熱く語り合う姿が見られ、来年に向けて更にレベルアップが期待できる大会となりました。



エコラン同好会

Hondaエコマイレージチャレンジ2015全国大会

9月20日(日)、エコラン同好会は、栃木県「ツインリンクもてぎ」で開催された「Hondaエコマイレージチャレンジ2015全国大会」に出場しました。6月に鈴鹿で開催された地方大会の結果から、課題に対するマシンの改良を重ね、ドライバーの走行練習も充分に行って大会に臨みました。鈴鹿とは違って、アップダウンの少ないコース設定になっている為、全国大会では1,000Km/Lを目標に定めて、3台体制でチャレンジしました。大会当日は快晴に恵まれて、メンバー全員が担当の役割をしっかりと再確認して、目標に向かってスタートしました。各マシン共に順調に周回を重ねて、目標の1,000Km/Lと上位入賞を目指しましたが、途中、6周目で1台がストップ。残りの2台は無事フィニッシュしましたが、目標に届かず、最高位が17位で記録は685.150Km/Lに終わりました。姉妹校の関東校が、1,200Km/L以上の記録で7位に入った事から、メンバー全員が悔しい想いで大会を終えました。しかし、メンバーには下級生も多く残り、今大会の反省と課題の整理をしながら来年でのリベンジを誓っていました。



EV同好会

2015 Ene-1 GP SUZUKAに参加しました

8月2日(日)、EV同好会は三重県鈴鹿サーキットで開催された、「2015年 Ene-1 グランプリ鈴鹿大会」に出場しました。この大会は、充電式単3乾電池40本を使って、鈴鹿サーキットを3周し総合タイムを競います。しかし、ただ単に早く走るだけでなく、坂道のある鈴鹿のコースを走りきるマシンの耐久性やボディ剛性、限られたエネルギーで効率よく走る技術等が必要なエネルギーマネジメント競技です。本校は、軽量化とマシンの耐久性を狙って、昨年よりボディをダンボールで製作し、更に今年はカウルやブレーキに改良を加えて臨みました。1回目のタイムアタックでは、若干のトラブルはあったものの、まずまずのタイムで無事ゴール。ドライバーも、使用電流を減らす走り方を見出し2回目以降のタイムアタックに期待が膨らみました。2回目のタイムアタックでは、難関のダンロップ坂も順調にクリアして、1回目より2分もタイムを短縮しました。そして、最終の3回目のタイムアタック。



ク。難関のダンロップ坂もゆっくりながら前進しましたが、その後マシンの姿が見えなくなってしまいました。ドライバーからの報告でヘアピンカーブの先のスロープで止まってしまい、電池の回復を待つ作戦としましたが、その後のスロープで完全にストップし、競技終了となりました。今回の結果は大学・高専・専門学校クラスで7位(エントリー13台)と悔しい結果に終わりました。大会直前まで、マシンのセットアップに時間を費やし、昨年より性能が向上しての今年度だっただけに、残念な結果となりました。しかし、来年に残るメンバーも多く、今回の課題を更に改良して来年こそ上位を目指して頑張ってください。

野球同好会

大阪狭山市長杯

9月27日(日)、野球同好会は地元の大会「大阪狭山市長杯軟式野球大会」に出場しました。この大会は、大阪狭山市に登録している社会人中心の大会で専門学校単独で参加しているのは本校だけとなっています。チームは、夏の関西専門学校大会に負けてから、この大会に備えて練習を重ね必勝体制で臨みました。この日の相手は「ダークホース」という社会人の強豪チーム。試合は1回表に、相手投手のコントロールの乱れによる四球とヒットが繋がって、先制1点を先取しました。一方、本校の投手は、1回裏を三者凡退に抑える最高の立ち上がりで、試合を有利に進めました。しかし、その後相手投手も立ち直り、追加点が取れない緊迫したゲームとなりましたが、1-0で初戦を勝利しました。しかし、続く10月18日(日)に行われた次の試合で前回優勝チームと対戦し7-0で敗退しました。今大会では1年生部員も多く、試合で学んだ事も多く次回への経験が得られた有意義な大会となりました。

